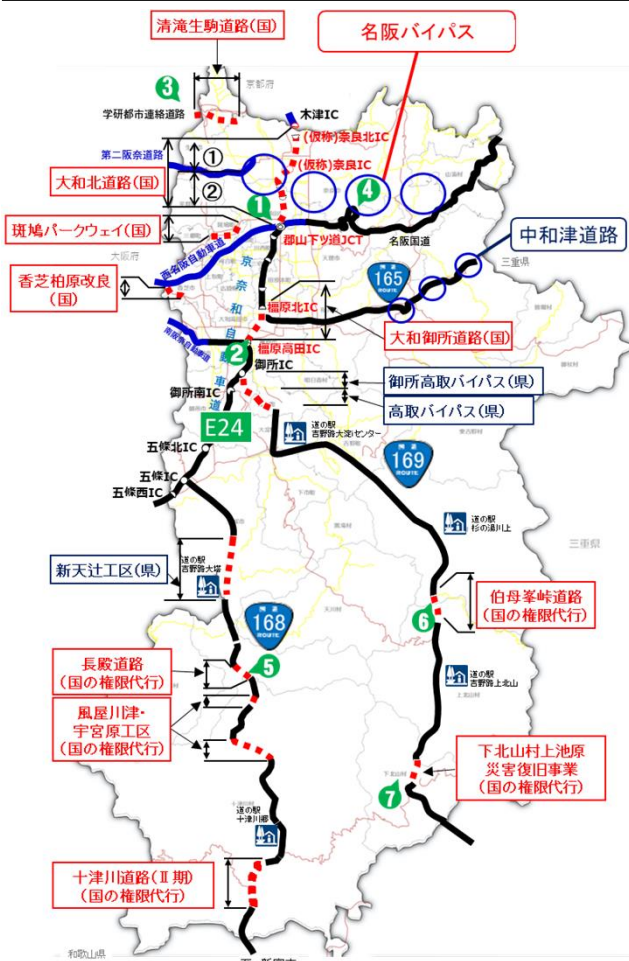


国にお願いすること

- 奈良県における一般道路(国道・県道)の道路整備率は約34%で全国第47位であり、紀伊半島アンカールートをはじめとする広域道路ネットワークの整備促進、生産性向上に資する関連事業の令和6年度補正予算を例年以上に確保
- 2037年に迫るリニア中央新幹線の全線開業と「奈良市附近駅設置」の整備効果を最大化し、県全域に波及させるため、高速道路のミッシングリンク・ボトルネックの解消
- 継続的・安定的に国土強靱化の取組や「半島防災」を進めるため、国土強靱化実施中期計画について、骨太方針2024を踏まえつつ、出来るだけ早期(令和6年度内)に必要な事業規模、及びその対策期間を盛り込んだ計画の策定と、ミッシングリンクの供用目標を早急に公表



<広域道路ネットワークの整備促進>

[高規格道路]

- 京奈和自動車道 大和北道路の整備促進 (仮称)奈良北IC～(仮称)奈良IC [区間①]
 - ・トンネル工事の早期着手 (6.1km)
- (仮称)奈良IC～郡山下ツ道JCT [区間②]
 - ・工事及び用地取得等の促進 (6.3km)
 - ・早期開通にむけて供用目標を早急に公表

- 京奈和自動車道 大和御所道路(4.4km)
 - ・本線の早期開通にむけて供用目標を早急に公表し、工事の促進(用地取得完了)
- 学研都市連絡道路 清滝生駒道路の整備促進
 - ・用地取得及び工事の促進

<用地進捗状況>
R 5. 3月末(約90%) ⇒ R 6. 3月末(約91%)



- 名阪バイパスの具体化に向けた検討 京奈和道～名阪国道
 - ・名阪国道は線形が悪く、死傷事故が多発

- 国道168号 五條新宮道路の整備促進
 - ・用地取得及び工事の促進

<事業区間>
国の権限代行事業(3ヶ所): 長殿道路、風屋川津・宇宮原工区、十津川道路(Ⅱ期)
県事業(1ヶ所): 新天辻工区

- 国道169号 奈良中部熊野道路の整備促進
 - ・国土強靱化実施中期計画への位置付け
 - ・用地取得及び工事の促進

<事業区間>
国の権限代行事業(1ヶ所): 伯母峯峠道路
県事業(2ヶ所): 御所高取BP、高取BP

[一般広域道路]

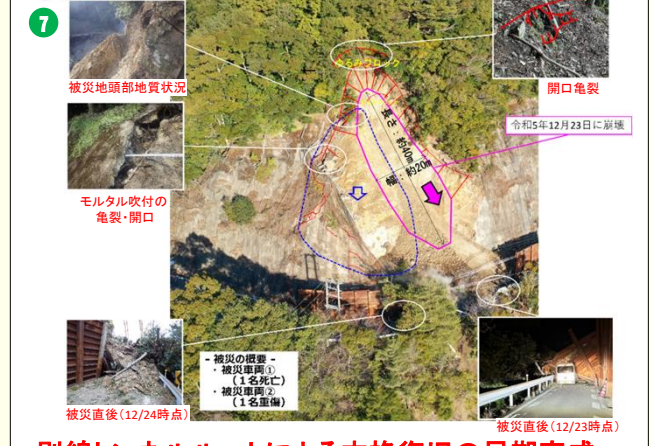
- 国道25号 斑鳩パークウェイの整備促進
- 国道165号 香芝柏原改良の整備促進
- 国道165号 中和津道路(桜井市～三重県境) 調査・検討

<舗装補修対策>

- ならの道リフレッシュプロジェクトの実施
 - ・令和6年度から令和10年度の五カ年に、予算を集中的に投入
 - ・道路の重要性や交通量に応じて管理区分を設定し、区分毎に、管理目標・舗装点検の方法等を決定し、めりはりをつけた舗装管理計画に基づき実施

【今後、5年間に於いて優先的に実施する路線】
管理区分A(大型交通量1,000台/日・方向以上)の県管理道路(L=約110km)のうち、**損傷度Ⅲ(L=約29km)**を優先的に調査、設計及び修繕工事を実施。
損傷度: ひび割れ、わだち掘れ、IRI(凹凸)の3指標より判断

国道169号下北山村上池原の崩土災害 トンネル工事の発注手続きに着手



- ・別線トンネルルートによる本格復旧の早期完成
- ・地方整備局職員定員増などの体制の充実・強化



損傷度Ⅲのうち、FWD調査により、路盤からの打ち替え等が必要な箇所について
「5カ年の舗装補修計画」に必要となる
予算の所要額確保

京奈和自動車道の整備による効果 ~経済成長と観光立国を実現するシームレスネットワークの構築に向けて~

- 京奈和自動車道は、**関西圏の環状ネットワークにおける関西大環状道路の軸**を担っており、3府県を縦貫する高規格道路である。
- 関西圏における国土軸の道路整備と合わせて、**京奈和自動車道の整備を推進することにより、経済成長と観光立国を実現するシームレスネットワークが構築される。**
- また、国土軸との直結により、**関西圏のポテンシャルを最大限発揮可能となり、物流・産業拠点の連携による経済の一層の活発化、観光都市の広域的な連携の強化**につながる。



各業界からの期待の声

奈良から
日本の物流を支える



三甲株式会社
代表取締役社長 後藤 利彦氏

- 弊社は、1951年、73年前に創業した会社で、プラスチック成形加工メーカーであり、中でも産業用・物流用に特化した事業を行っています。奈良県を進出の土地に選定した理由は、弊社の製品は納期を非常に重要視しています。
- 出来るだけお客様の近くに工場を構えて、タイムリーに製品を提供させていただくという意味で、奈良県というのは非常に有利な地です。関西圏から1時間圏内であり、東海圏からも2~3時間圏内です。
- また、奈良県は災害が少ない場所であり、BCP対策にも優れている土地です。また、関西・東海という大きなマーケットが近くにあり、関西第3工場を奈良県に進出したのは素晴らしい選択であったと考えています。

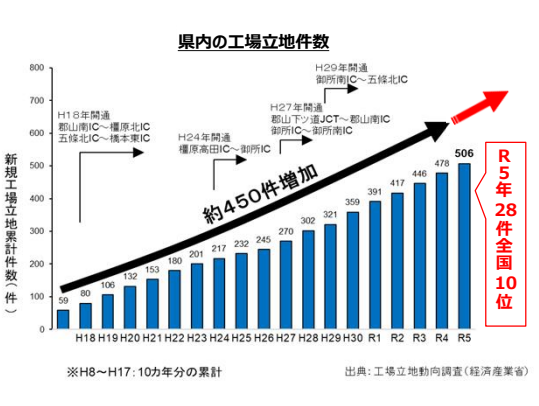
ジェイテクトグループが目指すアカルミライ



株式会社ジェイテクト
経営役員 生産本部 本部長
新家 俊明氏

- ジェイテクトは、2006年に光洋精工と豊田工機が合併して誕生し、電動パワーステアリング (EPS) を世界ではじめて開発したのが橿原市にある旧光洋精工の奈良工場です。
- 現在も奈良工場は、ジェイテクトの主力商品であるEPS製造の中心地です。
- ジェイテクトは、EPSで世界40%強のシェアを誇り、あらゆるタイプのステアリングシステムを製造しています。
- 自動車部品の消費地は愛知県ですが、工場の近くに京奈和自動車道も開通し、物流面で効果が生まれています。奈良県の各地へのアクセス環境が年々向上しているのは非常にありがたいと思っています。
- 古代から長い時間をかけて育まれてきた持続可能性が高い奈良の文化は弊社に大きな素晴らしい影響を与えてくれています。

■京奈和自動車道の開通による効果・ポテンシャル



国際競争力強化

空港・港湾と国土軸が直結し、物流・産業拠点間の連携が活発に

観光立国の実現に寄与

都市間の連携を高め、高まる観光需要に応える

- 凡例
- 京奈和自動車道
 - 4車線区間
 - 事業中
 - 暫定2車線区間
 - 開通済
 - 国際戦略総合特区及び主な産業集積地
 - 事業中
 - 調査中
 - 世界遺産

■奈良県は災害リスクが比較的小さい内陸部

